

安國麻衣

兵庫県出身 つくば市在住

POINT LINE -Jardin d'Hiver-

La Photographie du Jardin d'Hiver, elle, était, bien essentielle, elle accomplissait pour moi, utopiquement, *la science impossible de l'être unique.*

「温室の写真」それは、まさに本質そのものでした。私にとってまるで理想郷のように、唯一の存在というあり得ざるSCIENCEを実現していたのでした。

「La chamber claire」ROLAND BARTHES

点という概念にすぎないものが、視覚化された瞬間に、それは面積をもち線にかこまれたものとなります。同様に線も、線に囲まれ、終わりをもつものとなります。

視覚化された線の中には点を、点の中には線を内包仕合います。線は無数の点の集合体であるかもしれませんが、点もまたその内に点や線を内在するものかもしれません。と同時に、それらは本来の情報体としての属性も持ち続けているのです。

ちょうど、種子が生命情報を秘め、それが具現化され花開き、また種子へとその情報を立ち戻し、時に凍結し、時間や場所を移して行くようです。

また、言語は、個と個とを繋ぐものですが、それも、点と線との関わりのように、言語が本来持つ情報性と、それぞれの個から映し出される固有の言語性が合いまり、情報化され、解凍され、時間や空間を越え、記号であると同時に、存在と関わりを内包し合います。

壁のようなものという素材は、地から垂直にたつという縦の軸、時間の中にあり続けようとする横の軸をもち、風化や崩壊を繰り返しながらその中に何かを遺そうというあり方を表現したく選んでいます。

このような側面から、壁のようなものに点と線とを刻み、それら相対の中から生まれ得る個を導き探ろうと試みます。